

発行 令和5年1月

発行者：大阪市建設局

夢洲工事だより

～ 創刊号 ～

◆夢洲等で実施している工事の紹介

現在、夢洲では2025年日本国際博覧会の開催に向け、会場整備が進められています。

大阪市では、夢洲へアクセスするのに必要な鉄道や道路などの都市基盤施設（インフラ）の整備を行っています。また、夢洲内では、物流関係のコンテナ車両も多く走行していることから、万博会場に向かう車両と物流エリアに向かう車両の通行を分離し、安全・快適に走行できるように、夢洲内に高架道路等のインフラ整備を行っています。

本工事だよりでは、事業内容や工事の状況を定期的にお知らせします。

主なインフラ整備事業

- ① 観光外周道路（新設）
- ② （仮称）夢洲北高架橋（新設）
- ③ （仮称）夢洲南高架橋（新設）
- ④ 夢洲幹線道路（拡幅）
- ⑤ 鉄道（南ルート：中央線延伸）
- ⑥ 舞洲幹線道路（4→6車線化）
- ⑦ 舞洲東高架橋（新設）
- ⑧ 此花大橋（4→6車線化）
- ⑨ 夢舞大橋（4→6車線化）



工程表

項目	年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	
		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
インフラ整備	① 観光外周道路		設計等		工事					
	② （仮称）夢洲北高架橋		設計等			工事				
	③ （仮称）夢洲南高架橋		設計等			工事				
	④ 夢洲幹線道路		設計等		工事					
	⑤ 鉄道（南ルート）									
	駅舎部			設計等	工事					
	シールドトンネル部				工事					
	レール・電気設備等				設計等	工事				
	⑥ 舞洲幹線道路		設計等		工事				工事	
⑦ 舞洲東交差点立体交差化		設計等			工事					
⑧ 此花大橋		設計等			工事					
⑨ 夢舞大橋			設計等	工事						

R5.1時点

大阪・関西万博開催

夢洲工事だより

～ 創刊号 ～

◆工事の進捗状況について1

創刊号では夢洲内の高架橋工事と鉄道工事の進捗状況をご紹介します。

②(仮称)夢洲北高架橋・③(仮称)夢洲南高架橋

⇒全長 195m、幅 16m～23m(4車線)

➤ 整備概要

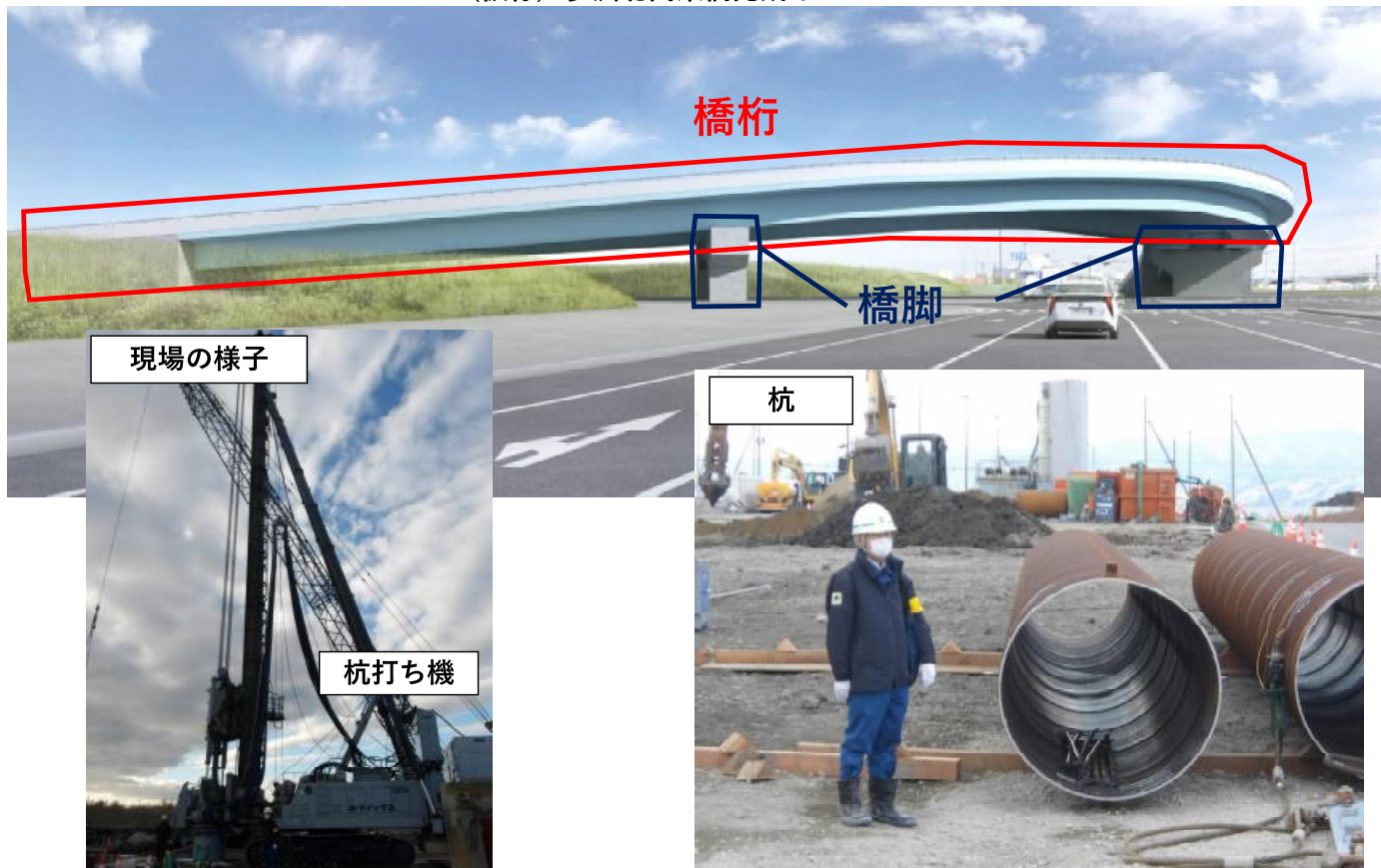
夢洲では、万博やIR等の観光拠点へ向かう観光車両とコンテナターミナル等の物流拠点へ向かう物流車両の2つの車両の通行を分離させることを目的に2橋の高架橋を建設しています。

これらの高架橋の橋桁は、鉄でできており、橋の重さは2000tもあります。

この橋を支えるために、下の写真にあるように、直径1.2mの鉄の杭を地中に合計50本を橋脚の下に設置します。現在は、この杭工事を実施しています。ちなみに、杭は地中深くにある固い地層まで入れるので、長さが49mにもなります。このように大きな地震にも対応できる頑丈な橋をつくっています。

杭工事の後は、橋桁の土台となる鉄筋コンクリートの橋脚を作ります。鉄筋を組み立て、型枠にコンクリートを流し込み、コンクリートが固まれば、橋脚の設置が完了です。そして、最後に車の通行部分となる橋桁を設置して、高架橋の完成となります。橋脚の設置時期は令和5年秋頃を予定しており、橋桁の設置、高架橋の完成は令和6年中を予定しています。

(仮称) 夢洲北高架橋完成イメージ



夢洲工事だより

～ 創刊号 ～

◆工事の進捗状況について2

⑤鉄道(南ルート)

⇒駅舎部 全長 約380m、幅 約19m、高さ 約13.6m シールドトンネル部 全長 約760m、直径約7m×2

➤ 整備概要

夢洲には鉄道駅が無いので、地下鉄中央線コスモスクエア駅から夢洲まで地下鉄を繋ぐ工事を行っています。令和2年7月から地上より地盤を掘り進め（開削）、地下にできる駅のホーム階や改札階等の駅舎部を設置する工事を進めており、令和6年度中に完成する予定です。

また、地下鉄を通すためにはトンネルを作る必要があるため、駅舎部工事と並行して、上り線と下り線の2本のトンネル工事を進めています。トンネル工事では、下の写真にあるシールドマシンという掘削機械を2機使って、モグラのように土の中を掘り進めていきます。なお、このシールドマシンの直径は約7mあり、1日平均約7mのスピードで掘り進めることができます。このシールドマシンによるトンネル工事は、令和4年7月から始めており、令和5年夏頃には、約760mを掘り終える予定です。完成した地下の空間では、順次レールや電気設備等を設置して、地下鉄が走行できるようにしていきます。この駅を作ることで地下鉄でも大阪・関西万博会場へ行けるようになります。

鉄道（南ルート）イメージ

